

RI Japan 2023

世界で急進展するサステナブルファイナンスと日本の対応

5月24日(水)～25日(木)

虎ノ門ヒルズフォーラム（東京）（時刻は全て日本標準時）

1日目 5月24日(水)

08:15 開場

09:00 Responsible Investorと主要協賛企業よりの歓迎のご挨拶

09:15 プレナリー1：ESG基準のグローバル化と現地化、および日本での導入状況

- 多様な規制基準のなかで、どうすれば相互運用性を高めることができるのか？
開示基準の厳格化は、サステナブルアセットへの資本流入に影響を及ぼすのか？
- 日本はISSBとSSBJのどちらを導入すべきか？
移行ニーズを踏まえ、日本に適した現地志向の強いアプローチはあるのか？

モデレーター：小平 龍四郎（日本経済新聞 上級論説委員兼編集委員）

講演者：高田 英樹（金融庁 総合政策課長）

森 敦仁（FTSE Russell サステナブル投資部門日本代表）

小森 博司（IFRS財団 国際サステナビリティ基準審議会(ISSB)理事）

ヤスミン・ジェダイ（ソシエテ・ジェネラル マネージング・ディレクター

兼アジア太平洋地域サステナブル・ファイナンス責任者）

10:05 基調講演：日本におけるトランジション・ファイナンスの推進

講演者：木原 晋一（経済産業省 大臣官房審議官 環境問題担当）

10:20 ネットワーキングブレイク



responsible investor

RI Japan 2023

11:00 プレナリー2：グリーントランスフォーメーション(GX)を通じてネットゼロに向けた日本の歩みを加速する

- 「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に掲げられる目標とは？
- 実現・達成の可能性はどの程度なのか？
- GX経済移行債と移行ファイナンスは、どのような役割を果たす可能性があるのか？
- 日本のエネルギー供給の構造変化を加速させるために必要な要素と、他のOECD加盟国から得られる教訓とは？オフショアの視点とは？

モデレーター: 梶原 敦子 (株式会社日本格付研究所 常務執行役員サステナブルファイナンス評価本部長)

講演者: 林 礼子 (BofA証券 副社長)

池田 賢志 (金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー)

梶川 文博 (経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長)

ロバート・ヤングマン (経済協力開発機構 (OECD) グリーンファイナンス・投資 (GFI) チーム長)

11:00 プレナリー3：データを取り巻く状況の進化とデータ開示における日本の役割

- 評価機関・データ提供機関に係る行動規範について、ESG市場にどのような影響を及ぼすのか？
- ESG格付けの投資家信頼感に明白に影響を及ぼす可能性、およびESG基準強化につながる可能性とは？
- 代替データセット：次世代のESGデータとは？

モデレーター: 岸上 有沙 (EnCycleS 独立コンサルタント)

講演者: 西田 勇樹 (金融庁 サステナブルファイナンス推進室長)

榎堀 都 (CDP Worldwide-Japan アソシエイト・ディレクター)

サシャ・ベスリク (SDGインパクト・ジャパン株式会社 最高投資戦略責任者)

12:40 昼食

<p>13:30 ストリーム A-1 : 公正な移行への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> - 公正な移行とネットゼロ連携のバランスを調整する - エネルギー転換がもたらす社会的影響を緩和する方 	<p>13:30 ストリームB-1 : 投資プロセスに人権を盛り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> - 金融機関に人権に対する変化を促す外部環境とは？ - 金融機関にとっての重要 	<p>13:30 ストリームC-1- : 日本における金融市場のESG情報開示</p> <ul style="list-style-type: none"> - ESG投資のモーメントを失わないために、私たちには何ができるでしょうか？ - ESG投資ファンドの開示の課題
--	--	--



responsible investor

RI Japan 2023

<p>法を理解する - このような状況において、ESGにはPRの問題があるか？</p> <p>モデレーター: 夫馬 賢治 (株式会社ニューラル CEO)</p> <p>講演者: 足立 治郎 (環境・持続社会研究センター (JACSES) 事務局長) エリック・ローダー (国際労働機関 (ILO) テクニカル・スペシャリスト) ケビン・レーマン (国連開発計画 (UNDP) バンコク地域拠点ビジネスと人権に関するアナリスト)</p>	<p>な変化要因とは？ (法律/規制改正など) - 大手金融機関が実践するベストプラクティスとは？</p> <p>モデレーター: 永井 朝子 (BSRマネージングディレクター)</p> <p>講演者: アンドレア・ウェブスター (World Benchmarking Alliance, 金融システム・トランスフォーメーション・リード) 森澤 充世 (PRI事務局 ジャパンヘッド) 川崎 華奈 (Morningstar, Inc. ビジネス開発部長 日本・韓国担当)</p>	<p>と機会は何でしょうか - 金融機関の開示にはどのような可能性があるでしょうか。</p> <p>モデレーター: 三井 千絵 (野村総合研究所 ホールセールプラットフォーム企画部 上級研究員)</p> <p>講演者: 小野塚 恵美 (エミネントグループ株式会社 CEO) 堀江 隆一 (CSRデザイン環境投資顧問株式会社 代表取締役社長) 井上 峰人 (経済産業省 産業技術環境局 環境金融企画調整官) ナナ・リ (Impax Asset Management アジア太平洋地域サステナビリティ&スチュワードシップ責任者)</p>
<p>14:15 5分間の休憩</p>	<p>14:15 5分間の休憩</p>	<p>14:15 5分間の休憩</p>
<p>14:20 ストリームA-2 : 自主的な炭素取引市場のケーススタディ紹介</p> <p>- ネットゼロ戦略の一環としてカーボンクレジットをどのように利用できるか？ - 日本の炭素取引を促進するためのGXリーグの役割とは？ - 国境を越えた炭素取引を機能させる方法とは？</p> <p>モデレーター: 高瀬 香絵 (自然エネルギー財団 シニアコーディネーター)</p> <p>講演者: 丹本 憲 (株式会社商船三井 エネルギー営業戦略部 主席ストラテジスト) 上野 貴弘 (電力中央研究所 研究推進マネージャー サステナ</p>	<p>14:20 ストリームB-2 : ダイバーシティとインクルージョン</p> <p>- 日本で男女間の賃金格差解消を加速する方法と女性の役員登用率を向上する方法とは？ - DEI面での効果的な変更管理策の導入、および企業業績向上との関係 - ニューロダイバーシティのDEI面でのメリット</p> <p>モデレーター: トレーシー・ゴパル (Third Arrow Strategies CEO & Founder)</p> <p>講演者: 藤見 慶子 (株式会社Waris リスキリング事業統括)</p>	<p>14:20 ストリームC-2 : ネットゼロ活動の財源確保策</p> <p>- Transition Finance (移行ファイナンス) の意味とは？ 普遍的定義の確立を目指して - サステナビリティ関連ローンとグリーンボンドは、どの程度の影響を及ぼす可能性があるのか？ - Blended finance (ブレンドファイナンス) に よって 資金需給ギャップを埋める方法とは？</p> <p>モデレーター: ナオミ・デイビス (駐日英国大使館 経済金融参事官)</p> <p>講演者: ピーター・マンロ</p>

RI Japan 2023

<p>ピリティ上席研究員) 岡田 晃幸 (PwCサステナビリティ合同会社 サステナビリティセンターオブエクセレンス シニアマネージャー)</p>	<p>佐々木かをり (株式会社イー・ウーマン CEO) 松井 キャシー (MPower Partners ゼネラル・パートナー)</p>	<p>ー (欧州投資銀行 (EIB) IR・サステナブル部門責任者) 藤原 彩加 (緑の気候基金 気候投資専門官) セドリック・ リモー (Anthropocene Fixed Income Institute アジア地域シニア債券アナリスト)</p>
--	--	--

<p>15:05 交流セッション (休憩)</p>	<p>15:05 交流セッション (休憩)</p>	<p>15:05 交流セッション (休憩)</p>
<p>15:35 ストリームA-3: 持続可能な海とブルーエコノミー</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本の海が将来低炭素にシフトする方法とは? - ブルーボンドとブルーカーボンプレジットが果たす役割とは? - 持続可能な漁場作り: 生物多様性の保全と食品の安全を関連付ける <p>モデレーター: 江夏 あかね (野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長)</p> <p>講演者: 花岡 和佳男 (株式会社シーフードレガシー CEO) コンデス・ソフィア (FAIRR Head of Investor Outreach) 吉高 まり (三菱UFJリサーチ&コンサルティングフェロー (サステナビリティ)) 前川 聡 (世界自然保護基金(WWF) ジャパン) 海洋水産グループ長)</p>	<p>15:35 ストリーム B-3 : ESGケーススタディの紹介</p> <p>-ESGが明白な成果をもたらした事例</p> <p>モデレーター: 森澤 充世 (PRI事務局 ジャパンヘッド)</p> <p>講演者: 藤井 智朗 (ニッセイアセットマネジメント 共同チーフ・インベストメント・オフィサー兼ESG推進部長) 森島 千佳 (味の素株式会社 執行役常務 サステナビリティ・コミュニケーション担当) 吉澤 ちさと (富士フィルムホールディングス株式会社 取締役 執行役員) 森 敦仁 (FTSE Russell サステナブル投資部門日本代表)</p>	<p>15:35 ストリームC-3 : サステナブルなビジネス実践のためのガバナンス再考</p> <ul style="list-style-type: none"> - 優れたガバナンスとESG課題管理との関連性を認識する - 経営陣がESG課題に対し説明責任を果たし、真剣に取り組むようになるための方法 - ESG課題に関する部門横断的な協力の必要性を理解 <p>モデレーター: 杉浦 康之 (日興リサーチセンター 社会システム研究所長)</p> <p>講演者: 内ヶ崎 茂 (HRガバナンス・リーダーズ株式会社 CEO / 三菱UFJ信託銀行株式会社 執行役員) 正木 義久 (一般社団法人日本経済団体連合会(経団連) ソーシャル・コミュニケーション本部長) 藤本周 (国際コーポレートガバナンス・ネットワーク (ICGN) ジャパン・アドバイザー)</p>

16:25 休憩



responsible
investor

RI Japan 2023

16:30 プレナリー4 : ESGの今後の行方と投資家への影響

- 最近の米国での反発、ウクライナ戦争、エネルギー危機、グリーンウォッシングに対する懸念の高まりといったESG活動に対するマイナス要因は、長期的にどのようなインパクトを及ぼすのか？
- ESG活動への信頼を復活させるためにはどのような措置が必要であり、日本投資界はその動きを後押しするために何ができるのか？
- 日本のESGコミュニティは米国での反発からどのような教訓を得ることができるか？

モデレーター: ルーシー・フィッツジョージパーカー (Responsible Investor 編集者)

講演者: アンソニー・イームズ (Calvert Research and Management マネージング・ディレクター (責任投資戦略統括) / モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント マネージング・ディレクター)

ネカ・チケ・オビ (サステイナブル・フィッチ社 APAC ESG格付け・調査部門責任者)

安井 友紀 (グラスゴー金融同盟(GFANZ) アジア太平洋ネットワーク、
マネージングディレクター)

17:30 レセプションパーティ



responsible investor

RI Japan 2023

2日目 : 5月25日 (木)

08:00 開場

08:30 実践ワークショップ : ネットゼロ目標の達成方法

- ネットゼロ目標の設定・監視のために、投資家はどのようなステップを踏むことができるか？
- 気候変動はポートフォリオに現在どのような影響を及ぼしているか？気候変動対策に明らかに本腰を入れ、行動するアセットオーナーをこの地域で増やすには、何が障害となるか？
- ネットゼロの進捗と脱炭素化に関して、企業にどのように働きかけることができるか？
- ネットゼロ達成軌道から外れている企業に対して、投資家はどのような促進戦略とツールを利用できるか？

モデレーター: モニカ・ ベー (気候変動に関するアジア投資家グループ (AIGCC) ディレクター)

講演者: 長嶋 モニカ (独立系気候変動シンクタンクInfluenceMap 日本カントリーマネージャー)

野水彩子 (PRI シニアスペシャリスト クライメートアクション100+)

成田 恭子 (一般社団法人 CDP Worldwide-Japan シニアマネージャー)

<p>09:45 ストリームA-4 : 日本企業の脱炭素化の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本企業は脱炭素化のためにどのような取り組みを行っているか？ - 伝統的な化石燃料集約型企業は、どのようにエネルギー転換を進めているか？ - 企業が脱炭素化目標と生物多様性に関する課題を統合している方法は？ <p>モデレーター: 足達 英一郎 (株式会社日本総合研究所常務理事)</p> <p>講演者: 村野 忠之 (AGC)</p>	<p>09:45 ストリームB-4 : 人材管理の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> - 企業価値評価における人材の重要性が高まっていることを理解する - 日本と海外での人材データの開示実務 - ベストプラクティスのケーススタディ <p>モデレーター: 岩本 隆 (慶應義塾大学特任教授)</p> <p>講演者: 島津 裕紀 (経済産業省 経済産業政策局 産業人材課長)</p>	<p>09:45 ストリームC-4 : ESGをアセットオーナーの視点から捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本の機関投資家がESGに求めている本質的要素とは？ - アセットオーナーとアセットマネージャーの関係変化 - 報告・監視基準はどのように進化しているのか？アセットオーナーはグリーンウォッシング問題にどのように対処しているか？ <p>モデレーター: 伊藤 晴祥 (青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授)</p> <p>講演者: 木村 祐基 (機関投</p>
--	--	--



responsible
investor

RI Japan 2023

<p>Inc. 常務執行役員 経営企画 本部長) 手塚 宏之 (JFEスチール (株) 専門主監(地球環 境)) 藤川 宏 (キリンホールディ ングス 執行役員 CSV戦略部 長)</p>	<p>加藤 茂博 (ピープルアナリテ ィクス&HRテクノロジー協会 副代表理事/ビジネスプロデ ューサー/株式会社リクルー ト)</p>	<p>資家協働対話フォーラム 代 表理事・理事長)』 沖森 公輔 (キューピー企業 年金基金 常務理事) 塩村 賢史 (年金積立金管理 運用独立行政法人 (GPIF) ESG・ステュワードシップ 推進部長)</p>
<p>10:30 15分間の休憩</p>	<p>10:30 15分間の休憩</p>	<p>10:30 15分間の休憩</p>
<p>10:45 ストリームA-5 : ネットゼロへの推進役と して脚光を浴びるグリーン 水素</p> <ul style="list-style-type: none"> - グリーン水素とエネルギー移 行 - 脱炭素化は重厚長大産業に どのように貢献できるか? - グリーン水素革命における、 日本の役割とイノベーションの奨 励方法とは? - 技術面とコスト面での制約と は? グリーン水素戦略の導入はど の程度現実的かつ効果的なの か? <p>モデレーター: 黒崎 美穂 (エナ ジー・インパクト・パートナ ーズ ヴァイスプレジデント アジ ア太平洋地域統括)</p> <p>講演者: 西田 裕子 (自然エネ ルギー財団 シニアマネージャ ー (気候変動)) 遠藤 英隆 (三菱化工機株式会社 技術開発室 GX事業開発部長) 三宅 香 (三井住友信託銀行 フ ェロー役員 ESGソリューション 企画推進部主管)</p>	<p>10:45 ストリーム B-5 : 企業のサステナビリティと持 続可能なサプライチェーン</p> <ul style="list-style-type: none"> - 大手多国籍企業が、営利の 観点から持続可能実務を導入 するきっかけには、どのような ものがあるか? - サプライチェーンの持続可能 性を向上するための企業の取 り組みとは? - 持続可能戦略の導入、および KPIと目標に関する情報を一般 人と投資家に伝えるうえで、 企業が直面している課題とは? <p>モデレーター: 青沼 愛 (鎌倉 サステナビリティ研究所 代表理 事)</p> <p>講演者: 佐藤 暁子 (国連開発 計画 ビジネスと人権リエゾン オフィサー) 田中 竜介 (国際労働機関 (ILO) 駐日事務所 プログラム オフィサー 渉外・労働基準専門 官) 渡邊 純子 (西村あさひ法律事務 所 弁護士) 乗上 美沙 (ビジネスと人権リ ソースセンター 日本リサーチャー /代表 (代理))</p>	<p>10:45 ストリームC- 5 : 株主決議の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> - 株主決議の手続きとメリット を理解する決議の成否の主な決 め手とは? - 反ESG的決議への最適な対策 <p>モデレーター: 山下 朝陽 (東 京駿河台法律事務所 弁護士/ク ライアントアース・リーガルア ドバイザー)</p> <p>講演者: 松木 耕 (株式会社 Proxy Watcher 代表取締役) プリン・オブライエン (ACCR Executive Director) 渡辺瑛莉 (マーケット・フォー ス 日本エネルギー金融キャン ペーター)</p>



responsible investor

RI Japan 2023

11:30 15分間の休憩	11:30 15分間の休憩	11:30 15分間の休憩
<p>11:45 ストリームA-6 : 気候変動シナリオの計画</p> <ul style="list-style-type: none"> - 移行シナリオ：先行き不透明な状況での仮定とモデリング、政策遅延に伴う金融リスク - 移行遅延コストの見積もり・ダメージを受けるアセットの主たる影響 - 不透明な時期における金融セクターでの気候変動リスク管理の未来 <p>モデレーター: クリス・ラッセル (ジャパントイムズ シニア・ニュースエディター)</p> <p>講演者: 富田 基史 (一般財団法人 電力中央研究所 主任研究員)</p> <p>物江陽子 (マーサージャパン株式会社 資産運用コンサルティング部門 シニアコンサルタント サステナブル投資担当)</p> <p>口野智広 (KPMG Japan ディレクター)</p> <p>タンピ・シミ (FAIRR Climate Economist)</p>	<p>11:45 ストリームB-6 : ESGでAIとデジタル化を受容</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本はどのようにデジタル化と変化を促進し、ESG の状況に適応させることができるか？ - サステナビリティがデジタル化に基づいて構築される理由 - AI の倫理を理解する <p>モデレーター: ポール・ベディ (フューチャーマックス・インスティテュート CEO / 同志社大学 社会価値研究センター (VRC) 議長)</p> <p>講演者: 石川 洵哉 (アスタミューゼ株式会社 イノベーション投資事業本部 本部長)</p> <p>フィリップ 須貝 (同志社大学 社会価値研究センター長、ビジネス研究科 教授)</p> <p>ラヴィ・チダンバラム (TCキャピタル 代表取締役社長 兼共同創業者)</p>	<p>11:45 ストリームC-6 : ESG分野での将来のリーダーに関する円卓会議</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本の年功序列文化という保守的な障壁を、次世代はどのように打ち破ることができるか？ - 業界でのキャリア構築に成功する鍵、および必要なスキルセットとは？ - 業界の若いリーダーの成功ストーリー <p>モデレーター: 小崎 亜依子 (サステナブルファイナンス・インパクト投資・サステナブルビジネスに関する独立専門家)</p> <p>講演者: 内田 大義 (東京大学法学部4年生 Climate Youth Japan)</p> <p>中村 将人 (GLIN Impact Capital、代表パートナー)</p> <p>河合 将樹 (株式会社UNERI CEO)</p> <p>矢動丸 琴子 (一般社団法人 Change Our Next Decade 代表理事)</p>

12:30 昼食

13:45 基調講演：持続可能な社会の実現に向けたグリーンファイナンスの役割

講演者：小野 洋（環境省 地球環境審議官）

14:00 基調講演：ESGからインパクトへ - 持続可能な投資が未だに重要である理由

マット・クリステンセン（Allianz Global Investors マネージング・ディレクター、グローバルヘッド・サステナブル&インパクトインベスティング）

14:15 プレナリー5：生物多様性の課題を社会の本流に

- ポートフォリオの生物多様性リスクの最適な管理方法とは？
- ポスト2020生物多様性フレームワークのCOP15での採択について、投資家はどう見ているか？
- データ取得への取り組み方法は？生物多様性データは信頼に値するか？

モデレーター：橋本 務太（WWFジャパン 金融グループ長）

講演者：足立 純一（KPMGサステナブルバリューサービス・ジャパンアドバイザー統轄パートナー）

原口 真（MS&ADインシュアランスグループホールディングス サステナビリティ推進室 TNFD専任SVP）

柴野 幸恵（MSCI エグゼクティブ・ディレクター ESG & Climateリサーチ）

秀島 弘高（農林中央金庫 エグゼクティブ・アドバイザー）

中久保菜穂（S&P Global（日本）ESG ソリューションズ・ヘッド）

15:30 ネットワーキングブレイク

16:00 プレナリー6：投資戦略としてのインパクト投資の台頭

- ポスト2020生物多様性フレームワークの「インパクト投資」を紐解く - 2023年におけるその実践的意味合いとは？
- インパクト投資は、明白な変化と魅力的な金銭的見返りの両方をもたらすことができるか？
- インパクト投資はスケールアップしにくいという課題をどのように克服できるか？
- どうすれば影響を正確に測定できるか、どのような方法論が採用できるか？

モデレーター：木村 卓郎（株式会社 G-Cubed Partners 代表取締役社長）

講演者：フィリップ・ミュラー（ブルーオーチャード チーフ・エグゼクティブ・オフィサー）

デビッド・フライバーグ（EY Japan インパクト会計アドバイザー 気候変動・



responsible
investor

RI Japan 2023

サステナビリティサービス)

陳野 浩司 (国際金融公社(IFC) チーフ・インベストメント・オフィサー)

ハリ・バルクリシュナ (ティー・ロウ・プライス グローバル株式インパクト投資戦略
ポートフォリオ・マネジャー)

16:50 カンファレンスの閉幕



RI Japan 2023